

ノブレス・オブリージュ

新国 勇

ノブレス・オブリージュ。意味はフランス語で「高貴なるものの義務」という。もともとは19世紀のヨーロッパで、貴族などの特権階級が人民のために私財を投じたり、戦争に志願して戦うといった理念をあらわすことばのようだ。要は、権力や財力を持ち、社会的な地位があるものは、それなりに果たすべき責任をもっているということ。広い意味にとれば、有名人や見識者も、社会的な責任を負うべきといえる。

このことばを知ったとき、ストンと納得できた。

若いころから自然への好奇心は人一倍つよかった。昭和60年、只見町白鳥を守る会を結成して白鳥飛来地の保護活動を始めたのを皮切りに、平成13年からは只見の自然に学ぶ会を立ち上げて地域の活性化をめざしている。また、役場職員だったときにたずさわったブナ関連事業から文化財保護までも今にいたるまで関わりつづけている。いつまでこんなことをやらなければならないのか、だれかやってくれる人はいないのかと蟻地獄のような状態にずっと悩んでいた。

しかし、これこそノブレス・オブリージュ。自分は高貴でも金持ちでもなく社会的地位もないが、たったひとつ自然は大好きだ。能力もないわが身をかえりみず、その楽しみをたくさんの人に知ってほしいという一念で活動してきた積み重ねがいまの立ち位置になったと思う。

16年前、ブナ林の伐採反対運動なんてとんでもない、都会の自然保護運動にかぶれて一緒になってやっているのはけしからんと批判された。それがいまや「自然首都・只見」を宣言し、「ブナと生きるまち」となり、「只見ユネスコエコパーク」にまでなった。手のひらをかえすとは、このことではないか。そうなったのは、只見の自然の価値を訴えつづけてきたからではないか。どうせなにを言っても変わらない、そんなことはトップがやらなければだめだとあきらめていたら変化はおこらなかったろう。

ノブレス・オブリージュということばにとらわれず、自分に好きなものがあり、よいことだと思ったら、仲間をつくって社会に提供し、よかったといわれるようになれば最高ではないだろうか。

活動報告 (2017.1～2017.12)

1/13 新年会

民宿やすらぎ 参加13名 *2p

1/15 ガンカモ調査

滝湖・只見湖 参加1名 *2p

2/14 「只見の自然を楽しむ写真展」

in 朝日小学校

展示3名参加 *2p

3/17 毘沙沢今井さん宅訪問

参加12名 *3p

3/28 月田農園訪問

南会津町 参加9名 *3p

4/25 定例会

民宿やすらぎ 参加12名

4/25 春の草花観察会

黒谷入～黒谷林道 参加9名 *4p

5/15 蒲生岳周辺の花暦調査 第1回

参加5名 *6p

5/20 バードウォッチング

小戸沢林道 参加9名 *5p

6/3 第17回 総会

民宿いわさき荘 参加23名

6/12 蒲生岳周辺の花暦調査 第2回

7/10 蒲生岳周辺の花暦調査 第3回

8/7 蒲生岳周辺の花暦調査 第4回

9/4 蒲生岳周辺の花暦調査 第5回

9/19 瀬畑さんを囲みDVD上映会

ひとつぶろまち湯 参加18名 *6p

10/8 蒲生岳周辺の花暦調査 第6回

10/23 キノコ鍋を楽しむ会

青少年旅行村いこいの森 参加11名

*6p

10/23 定例会

青少年旅行村いこいの森 参加11名

11/6 蒲生岳周辺の花暦調査 第7回

11/28 忘年会

民宿 福喜屋 参加18名

*は活動報告の掲載ページです

タイトルの写真：3月17日、毘沙沢、城山の頂上で見つけた小さなヤドリギ。垂直のブナの幹からニョッキリ生えてました。粘っこい種が木につくと寄生根をのばして芽をだすそうです。

2017年活動報告

学ぶ会新年会

2017年1月13日

民宿やすらぎ 参加13名

吹雪の中、学ぶ会新年会は無事、大盛況のうちに終わりました。

マツタケの茶わん蒸し、マイタケや車麩の煮物、ウドや打ち豆の小鉢等スローフードの数々に、キンメダイのしゃぶしゃぶも用意していただき、最後はかき揚げ入り手打ちそば、あめと抹茶をいただきました。

ひとりずつ今年の抱負を語った後はフリートーク。町の今後について白熱した議論も。お料理はとても美味しかったし、内容の濃いい話がたくさんできました。(ケイコ)



ガンカモ調査

2017年1月15日

悪天予想のため中止のはずが
天候回復のためひとりで実施

予報があまりに悪かったので中止といいながら、思わぬ快晴に恵まれ、急きょガンカモ調査にでかけてきました。

結果はつぎのとおりです。

【滝湖】ヒシクイ9、コハクチョウ6、オオハクチョウ11、オシドリ2、ヨシガモ2、マガモ20、コガモ18、ホシハジロ135、キンクロハジロ52、ホオジロガモ3、カワアイサ3、カイツブリ1、カンムリカイツブリ1 13種 263羽

【只見湖】オカヨシガモ11、ヒドリガモ2、マガモ257、カルガモ110、コガモ131、ホシハジロ45、キンクロハジロ17、カワアイサ1、カンムリカイツブリ1、オオバン86

10種 661羽

滝湖、只見湖の合計 17種 924羽

今回のスクープは、なんといってもヒシクイ（写真）。これには3つの亜種があって、滝湖では準絶滅危惧種のオオヒシクイが2羽、絶滅危惧種Ⅱ類のヒシクイを7羽確認しました。日本には局所的に飛来する冬鳥で、ガンの仲間です。それに只見湖ではオオバンの大集団にでくわしました。これだけ多いのははじめて。(イサム)



「只見の自然を楽しむ写真展」in 朝日小

2017年2月14日

展示作業 3名参加

朝日小学校のランチルームに、「只見の自然を楽しむ写真展」のパネルを展示してきました。3学期中、展示の予定です。(イサム)



A1のパネル13枚を展示完了

毘沙沢今井さん宅訪問

2017年3月17日

参加12名

毘沙沢の今井さん宅を総勢10名と甲斐犬3頭で行ってきました。

9時40分に布沢の森林の分校集合。晴天の下、かんじき、スノーシュー、山スキー、XCスキーとそれぞれの装備で出発。途中、カモシカ、ノウサギやキツネらしきものの足跡、ミヤマハンノキの花穂などがありました。雪景色を堪能しながら11時半ころに今井邸に到着。到着した時は雪が舞っていました。奥様お手製のカレーライス（自家栽培の米！）やダークアップルケーキ、自家製ハーブティーやコーヒーをごちそうになり満腹。



雪の毘沙沢林道を楽しみながら進む

腹ごなしを兼ねて9名が城山に挑戦。時々吹雪もようのなか、あまりの急斜面であきらめかけたものの、佐野さんの「ここ10mくらいを越えれば行ける」の一言で奮い立って、なんとか山頂に到着。1時間くらいかかりました。山頂は平坦で、なるほど小さな館があったのかも。ヤドリギが着生したブナや立ち枯れてキツツキに穴を空けられた木がありました。

山頂から急斜面を降りるのも一苦勞。登りと同じ1時間くらいかかりましたが、無事に下山。今井邸でコーヒーや



城山から毘沙沢、今井さん宅を見下ろす

ハーブティーをごちそうになり、みんなで記念写真を撮り、すてきな笑顔に送られながら今井邸を後にしました。

16時半ころ森林の分校に到着して解散。帰りは足が重くて、普段の運動不足を痛感しましたが、楽しい1日でした。今井さんご夫妻と準備された和子さんとサナエさん、皆さんに感謝です。（ゆたぼん）

月田農園訪問（南会津町）

2017年3月28日

参加9名

うっすらと曇り空、暑くもなく寒くもなく、歩くにはとてもいい日和となりました。

歩き始めてすぐにさっそく真新しい猿の足跡を発見！ ゆっくり2時間ほどかけて月田農園への道のりで、今年のイノシシ、シカ狩りのこと、鉾山の歴史、地名の由来、棚田の話、カモシカの死骸のことなど月田さんに伺いました。

また農園では奥様Y子さん手造りの美味しいぼたもち、大根の辛子漬けなどを頂きながら、ホルンのこと、香箱やお香のこと、東京の学習塾の体験学習の思い出話等々、相変わらず月田さんのお話は私たちを魅了してやみません。月田さん、お忙しいところ、本当にありがとうございました。（SANA E）



話がはずんだ月田農園への道のり



農園の山小屋で香箱の準備をする月田さん

今年も黒谷川沿いを散策 春の植物観察会

2017年4月25日

まずは、定例会会場となった民宿やすらぎで、そば粉100%の絶品手打ちそばやイワナの唐揚げ、ウドやアサツキといった旬の山菜を頂き、お腹を満たした後に出発！（この時点で既に満足度60%超え）

最初に黒谷入の土手にてカタクリを観察しました。気温は20度を越え日差しが暑いくらいでしたが、まだ日照不足なのかカタクリの花はやや色味が弱く、ピークはまだ少し後のよう。しかし、近くにフクジュソウやキクザキイチゲなどの花々も咲き始め、ピンク、黄、白のコントラストがキレイな所です。

次の場所は黒谷発電所に渡る橋の脇、ユビソヤナギの群生地。残念ながらユビソヤナギの花は終わりかけ、葉が茂り始めていましたが、イサム隊長がヤナギの花芽の苞の形でユビソヤナギを見分ける方法を教えてくださいました。

ユビソは苞の形が扇状に丸くなっているのに対して、オノエヤナギ等他のヤナギは苞が長細いのだそうです。とはいえ苞は、かなり小さいので老眼の方はルーペがないと見えない…。

ここで、事件が起きました。パトカー出現!! 何やら見慣れぬ怪しい集団とパトカーに驚いた地元の方々も4人ほど集まり…。無事に事なきを得ました。何が起きたのかは秘密にしておきます。



さてさて、一行はついに黒谷林道へ。

さっそく、鮮やかな黄色い身体が美しいキビタキがお出迎えしてくれました!!（満足度100%到達!）近くにはヒガラやヤマガラ姿も。しばし野鳥の観察を楽しみました。そして、いよいよ林道奥のフクジュソウの聖地へ。ワクワクしながら進むと、それはそれは見事なフクジュソウのお花畑が!!（満足度200%突破）

この美しさ、感動は写真では伝えるのが本当に難しいです。只見に来て良かった!と心から思える瞬間ではないでしょうか。

また、林道の途中で偶然出会ったKさんからは、黒谷にあった只見初の小さな発電所の話や（黒谷川の川岸にかつての排水口が見える）、川に仕掛けたムジリという竹で作った網で秋口にイワナやハヤを採ってイズシにしたお話等も聞くことができました。

今回の観察会も、思わぬ事件あり出会いありの満足度200%超えの濃い内容でした。知識をご教示くださったイサム隊長、諸々準備して下さった事務局の皆さま、ありがとうございました。（トモコ）



①ユビソヤナギの雌花 ②黒谷入のカタクリとフクジュソウ ③ユビソヤナギの花を観察
④黒谷林道沿いのフクジュソウ群落 ⑤雪が残る黒谷林道 ⑥かつての黒谷水力電気の排水口

石伏公園から只見川、小戸沢沿いに [春の恒例]バードウォッチング

2017年5月20日



最高気温が25度を越える夏日の中、今年のバードウォッチングには1歳4か月の我がちびっ子も参加しました。

場所は、初の小戸沢林道にて実施。果たしてどんな鳥が現われるか、ワクワクしながらの出発です。

思っていたより林道は涼しく、心地よい風が吹いていました。まずは、林道入口近くの葉っぱがやたら大きいブナの木をみんなで観察。和子さんが発見者です。写真では伝わりませんが、子どもの手より大きいです。

そのすぐ近くの杉林ではサンコウチョウが鳴いていました。残念ながら姿は見え、図鑑で見せてもらいましたが、オスは目の周りが鮮やかなブルーのキレイな鳥のようです。「ツキヒーホシ ホイホイホイ」と鳴く声は特徴的で、バードウォッチング初心者の私にも簡単に聞き分けることができます。

たくさんの鳥の鳴き声が聞こえ、イサム隊長は次々と聞こえた鳥の種類をカウントしていました。初心者にはなかなか聞き分けが難しいですが、クロツグミの声はよく響く滑らかな鈴のような美しい声色が際立ち、よく聞こえました！

少し歩くと、絶滅危惧種らしいコタニワタリというシダ植物（ワカメのよう）やクロサンショウウオの卵塊（鶏の

し玉より大きい?!）を見つけ、写真をパシャパシャ。

なかなか鳥の姿は捉えられず、この日最初に双眼鏡で見たのはハシブトカラスでした。

沢の穴から聞こえるタゴガエルの変な声を聞いたり、ネコノメソウやユキグニミツバツツジの花を愛でたりと楽しみつつも、バードウォッチングとしては大きな収穫のないまま復路へ。

オオルリやホオジロの声を教えてもらいながら、クマタカ出ないかなと願っていましたが、奇跡は起きず頭上をトンビが飛ぶばかり。

小さな発見はありました。ヤマグワの花粉がふわっと飛ぶ瞬間をみたり、アワガタケスミレの花を見つけたり。草花の写真を撮ったり、石を投げたり（これは1歳児）、なんだかんだ鳥の姿は見えずとも楽しめました。

9時頃に出発した観察会も、林道を出る頃には正午近くになっていました。昼食場所の歳時記会館に向かう途中、只見川の水鳥を抜かりなく観察し、鳥の種類を20以上にしていたイサム隊長の熱意（意地?!）も見えました（笑）。

今回は事件ありませんでしたが、林道は爽やかな風が吹き、鳥の声に耳を澄ませながら歩くのは心地よく、楽しい時間を過ごせました。（トモコ）



①葉っぱの大きなブナ ②コタニワタリを撮るイサム隊長 ③クロサンショウウオの卵塊 ④クロサンショウウオの卵の中で泳ぐ小さな幼生 ⑤ユキグニミツバツツジの花 ⑥アワガタケスミレの花 ⑦小戸沢林道を観察(帰路) 1歳児も頑張って歩きました！ ⑧水鳥カウントして「やったぜ！」の図

蒲生岳周辺の 花暦調査 第1回

2017年5月15日

参加5名

カタクリ、キクザキイチゲ、エゾエンゴサク、コシノコバイモ、アズマシロカネソウなど春の花が盛りで新緑が鮮やかでした。(ゆたぼん)

蒲生岳周辺の花暦調査は、5月から11月までに計7回行なわれました。詳細は次号「学ぶ会通信」に掲載予定。

瀬畑さんを囲み DVD 上映会

2017年9月19日

ひとつぶろまち湯 参加18名

DVD「天然キノコを探そう」の上映会を行いました。DVDに出演・監修された溪流釣りの名人、瀬畑雄三さんにもご参加いただき、DVD上映後、キノコのお話を伺いました。キノコ狩りのポイントは、まず「山見」。

山見とは、山に入る前に山全体を眺めてみることで、青い森があるところがキノコが生えている場所だそうです。ただし、杉林にはキノコはなくて、自分が食べられることをよく知っているキノコしか採らないそうです。

上映の後には、皆さんでうまいお酒をおおいに飲み、歓談し、親睦を深めることもできました。キノコ狩りのシーズンを前に、有意義な会になりました。(まこと)

雨にも負けず、風にも負けず… キノコ鍋を楽しむ会

2017年10月23日

青少年旅行村いこいの森 参加11名

雨風の中、好き者が。さすが学ぶ会！

11時からムッさんを中心に手際良くキノコ鍋の用意を始め、乾杯後の11時45分には食べ始めました。キノコはムキタケ、マスタケ、ナラタケ、クリタケ、アブラシメジ、ショウゲンジ等々。里いも、豆腐、ネギ、鶏肉、糸こんにゃくでシンプルな味付けに。なんと醤油はヤマサ醤油。あのヤマサではなく只見のヤマサです。そう、無添加自家製醤油を弘さんに差し入れてもらいました！ その他持ち寄りの副菜は栗御飯、イナゴ唐揚げ、ヤマゴボウ漬、菊花お

浸し、その場でのホンシメジ酒蒸し、マコモダケ焼き等々、多彩にたくさん。全員で秋の実りを十分堪能しました。

(a-killer)

キノコ鍋を楽しむ会、台風の風雨のさなか、肌寒いどごで、よぐもたいじえー集まったもんだあ。着くや、ビール飲み始めてだ人もいだなあ。だども、料理のまえに講習会もちゃんと、やっただぞ。見でみやれ。このムツアネとa-killer あんにゃの真剣な顔！ どっちもキノコオタクの顔だあ。ムツアネ、キノコ鍋うまかったぞや。キノコを事前に用意してけやった〇宮ご夫婦、ムツアネごっつおさまでした。それど、うわさのマコモダケもうまかったぞや。

(イサム)



キノコおたくのキノコ談義

講演会のお知らせ どなたでも聴講いただけます

第14回 只見の自然に学ぼう会

世界自然遺産小笠原諸島の
自然と保全への取り組み

2018年4月15日(日) 10:00-12:00

只見振興センター 1F 学習室 TEL.0241-82-2141
只見町大学只見字宮前1390

講師 加藤英寿氏(首都大学東京)

首都大学東京牧野標本館助教、理学博士。小笠原諸島の生物多様性の保全や進化に関する研究を進めている。

ブックレビュー

『水辺の樹木誌』

崎尾 均=著 東京大学出版会

崎尾先生(新潟大学教授)は、一昨年、学ぶ会開催のユビソヤナギ観察会の講師をしていただき、また只見ユネスコエコパーク支援委員長をしていただいたりと、只見大好きな先生です。そして、こよなく酒とケーナを愛する学者です。専門書ですが、只見町のユビソヤナギのことや、学ぶ会の保全活動のことも書かれています。



会員からの只見自然情報

学ぶ会メーリングリスト(2017年1月～12月)より

2017.1.9 動物の雪上運動会

今朝は天気がよがったな。そんで外さ出て見たら、あだり一面、動物の雪上運動会のようなだけ。写真の手前えがら奥に向かってついでいる3とおりの足跡は、ノウサギだ。左手から右下に横切っているあなが、キツネの足跡。右手から左上にラッセルしてんがなは、タヌキ。けれど、この写真ではよく見えねえども、テンも威勢よく走っていたな。4種類の動物が夜の間に、騒いだんだべな。いちばん、きらつちやなく走っていたのは、やっぱ、ウサギだったな。キツネは、抜かりなくまっすぐ目的地を目指してん。タヌキは、そだごに関係なく、マイペースでラッセル。みんな、それぞれ性格が出で、面白えぞや。(イサム)



1.15 ケアシノスリ発見!

ガンカモ調査、只見湖がらの帰りしま、赤沢の長福寺じゅう寺(ブナと川のミュージアムの近くにあっぞや)の上空付近を真っ白なタカが飛んでた。車を降ろちえ、双眼鏡で見たら、なんと、ケアシノスリ! ノスリに似てっども、下面が真っ白。足に毛が生えてっから、毛足ノスリどっちゅう。青空どのコントラストが、たいしたきれいだったぞや。これもけっこうレアな鳥。当然、只見初確認。しがし、写真は撮れなかった。残念。(イサム)

1.22 霜の花

昨日は良い星空で、朝は、指先がいたくなるような寒さでした。庭に白い花が一面に咲いて、よく見ると草に氷の結晶が付いてます。霜の花(フロストフラワー)?

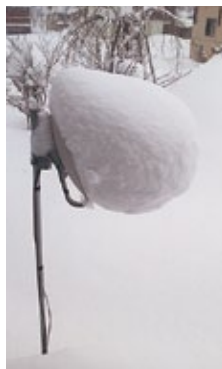
無風で-15℃の条件でおこる現象らしいのですが、只見は-9℃の天気予報。叶津はもっと冷えたのでしょうか。草に霜がついただけでしょうか。

(こずえ)



1.25 衛星放送、見らんこえー

今朝がたのおらいのパラボラアンテナ。こんじえは、衛星放送、見らんこえーわな。(イサム)



1.28 雪えくぼ

今日は天候も良く雪景色もキレイです! たくさんの雪えくぼを見ることができました。只見ではおもしろく自然観察ができてよいなあー。(郁奈)



2.5 オジロワシ!!!

午後3時30分ころ、伊南川沿いでオジロワシ発見! 雪原の上にいたずや。車の窓を開けて、カメラを出したら、感づがっちえ、飛び始めたもんだから、たいさぎしで車降ろちえ、追っかけで撮ったんで。雪は降ってし、空は暗えし、まあ、なんとが撮ったのがコレ。(イサム)



2.12 アカゲラ?

今朝7時頃、柄沢のクリの木を必死につつく頭の赤いキツツキ。アカゲラでしょうか? 見れて嬉しかったです。



(ハマグチ)

ハマさん、おぼんになりました。写真のキツツキは、アカゲラではなくて、オオアカゲラの♀だ。アカゲラよりは、ずっと珍しい(ただし、只見では、珍しくもねえども)。だいたい奥山にいるキツツキだ。冬になると、里さ、出っくる。長浜も自然がふんだんだったちゅうごんだ。(イサム)

3.1 かた雪わたり楽しみました

今朝、かた雪わたりで見られた足跡、テン、リス、キツネと木についた霧氷がきれいでした。帰りはソリ遊び(写真)。(和子)

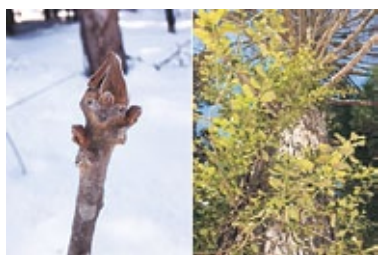


-10度と冷え込んだ朝は、雪が固まって雪の上を歩けます。叶津では、かた雪わたりと言いますが、他では何て言うのかなー。かた雪になったので裏山へ散歩。斜面や家の影はめかる所も。いろんな動物の足跡を眺めてきました。ノウサギの足跡、カモシカの足跡、そして

カモシカが芽を食べたあとも見つけました。(こずえ)



今日はかた雪わたりに適した日でしたね。私も楽しんでました。間近で木々の様子も観察できて面白いですね。オニグルミは猿や羊の顔に似ていますね！これはつる植物でしょうかね？雪があるのに青々とした植物を見ることができました！(郁奈)



写真はオニグルミの冬芽とツルマサキ

3.1 オオバンからエサを横取りするオカヨシガモ

きょう、只見湖さ、行ったら、オオバンだらけだったぞや。92羽もいだけ。いっちょダイビングして、水草、採って食ってんだが、そこさ、オカヨシガモの雌がまとわりついて、オオバンの水草を横取りしでる。オオバンが水草くわめーで浮かんでくっつー、そこめがげでって、水草奪っちゃうも一だで。なんぼ、取らっちゃうも、オオバンは、ねっか、かまーねな。それだけ、水草はふんだんにあっちゃうごった。ちなみに、オオバンは潜水でぎるクイナの仲間、オカヨシガモは水さは潜ぐっごでぎねえ、水面採餌ガモだあ。(イサム)



3.7 フクジュソウめつけ

朝、子どもと家の前を歩いていたら、今年第一番目のフクジュソウを発見。大体例年通りの感じです。坂田の家の前

は岩から水が出ているので、雪解けが早いのと日当たりが良いのではかより早く咲きます。今朝の雪でまた雪の中に埋もれてしまったけど。(ハル)



3.13 ユビソヤナギ

只見もだいぶ暖かくなってきました。先ほど、黒谷川のほとりでユビソヤナギの花がほころび始めてるのを確認しました。春も近いですね！(トモコ)



3.13 カモシカ紋次郎

今朝、例によって窓から外を見るとはなしに見えていますと、なんとニホンカモシカの登場です。最初は杉の葉を食べていました。8時45分頃です。次に桑の木に移動。9時20分頃です。11時過ぎにスノーシューを履いてもっと近くで撮ろうと近づくと去って行きました。11時30分ごろでした。杉よりも桑の方がお好みの方でした。角(洞角)が短いので、去年の春に生まれた子だと思えます。それにしては母親が見えませんでしたけど。桑の木で撮った写真をアップで見ると楊枝をくわえています。で、紋次郎。

若い人には解らないか…?! (a-killer)



3.23 春先の雪の消えつつあるぞ、いとおかし

きんなの午前中、おらいの上っ手にあるゴミステーションさ、かぶさってだ

雪が消えかがって、屋根さ、ちょごつと、もたれかがっていただ。夕方には、はあ、くずれっちまったども、春っ先の雪の一瞬のはかなさ、いとおかしだべな。

(イサム)



3.27 なんてこった

今朝、キツツキに我が家の壁にドラミングされちゃいました…！まあ古い木造だし、それらしい穴も空いていたんですが。壁の間を歩いているような音もしました。

家の周りのクリに毎日アオゲラが来ていて、24日あたりからドラミングしていたので、たぶん同じやつでしょう。今頃から婚活するんですね。

(ゆたぼん)

ふるい木の壁だったら、ケラツツキの格好のエサ探し場になってっぺな。ケラツツキにつつかれて、機関銃で開けられたような壁の蔵があんな。山に近えどごがひでえな。穴開けで、中で冬眠しでるクサムシ採って食ってんだ。ケラツツキばっかでなくて、フウジロも、クサムシ食うな。食うもんがねえ冬は、クサムシが越冬食糧になってんだべな。そういうごどがら言うど、みんなに嫌われでるクサムシも、生態系を支えてるたいせつな虫だべな。

さて、ここで問題。ケラツツキはわがっぺども、フウジロっちゅうは、なんだっちょ？正解者には、抽選で、チョー豪華賞品をプレゼントしつおや。

(イサム)

うちにもアオゲラのあけた穴が40位あります。クサムシを食べているんですね。うちの中もクサムシー杯ですが、さすがに中までは入ってきません。イサムさんのクイズに答えます。頬(フウ)の白い鳥の総称で、シジュウカラとかコガラです。賞品よろしく！

(a-killer)

3.28 ヤマセミ

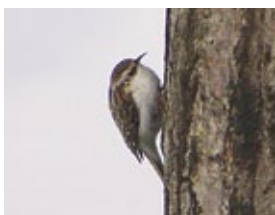
昨日の夕方、黒沢橋に並行して走る電線にとまっていたヤマセミ(みかな)です。ちょっと用事で車で出かけた時に見かけて、帰り道で見たらまだいたので、カメラを取りに家に帰って撮影したものです。ズームレンズの200ミリ、手持ちだったので、よく撮れてはいません。写真は大きくトリミングしたものです。

水害後3年くらいは、見かけなかったけれど、今年は家の近くの水辺でけっこう見ることができました。黒沢橋を渡る際は上流側の電線をチェックすると出会えるかもしれません。少し前には、樫戸橋下流側の電線にもとまっていました。(クマ)



4.1 久しぶりの鳥と虫

今朝は、またもや窓からですが鳥をたくさん見ました。カワラヒワの群れ、ホオジロの群れ、ゴジュウカラ、ヤマガラそして写真のキバシリです。これはほぼ1年ぶりに見て、初めて写真が撮れました。記念すべき1枚です。



次はオツネトンボです。冬眠から覚めたようです。ホソミオツネトンボは晩春から初夏にきれいなブルーになりますが、本種は成熟してもこのままの色です。ですがユタポンさんに去年教わりました。翅の部分を拡大した写真を見て下さい。閉じた翅の縁紋が重なっていないので、これはオツネンで



す(ホソミは重なる)。いよいよ春ですね。(a-killer)

キバシリとは、すげーな。最近、山さ行がなくなったが、ねっかは一、見るどころでぎなぐなった。こだ珍しい鳥、家んなさいながら、写真に撮るなんぞ、きったねーぞ! こういうのをモノグサウォチャーどって言うだ。(イサム)

4.11 ウグイスの初鳴き

黒沢でウグイスの初鳴きを確認しました。次は春わずかな日だけ庭に遊びに来るオオルリとアカショウビンの初鳴きを心待ちにしています。(和子)

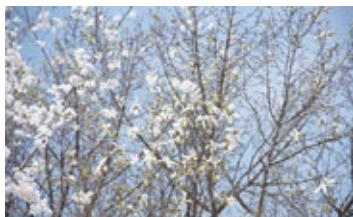
4.20 センダイムシクイは大酒飲み?

センダイムシクイが手に入ったぞや。きんのう役場で1羽、きょう只見高校で1羽の合計2羽。ちっと、でっけえあなは、只見高校のあんだども、同じあんだ。これら山中で、「焼酎一杯グイー!」どって、でっけえ声してさえずるんだども、身体は小っちゃくで、華奢だな。大酒飲みにも、そだな、いんぞな。(イサム)



5.5 黒谷のキタコブシ

黒谷のキタコブシです。例年よりも花付きが悪いですが満開です。枝先の方が何者かに食べられています。山にタムシバ、里にコブシ。ウチの前ではタムシバが満開です。ウチはやはり、山?(a-killer)



そのとおりだべな。a-killerさんがいはい、山中だが、タムシバも早く咲ぐだべな。というより、そこだけ雪が早く消えだんでながろうが。あど、キタコブ

シの花、食ったあなは、ヒヨドリだ。うまそうに、食うぞや。(イサム)

5.5 今年もフクロウが...

今年も、巣箱にフクロウが抱卵しています(多分)。4月初めにフクロウの鳴き声を聞きました。4月16日に巣箱から飛び出してきたフクロウを見ました。夜〜深夜〜明け方近く、フクロウが鳴いているのを時々耳にします。携帯のボイスメモに鳴き声を録音できました。巣箱の下を通るたび、フクロウが飛び出します! 去年より、神経質な感じがします。去年は庭で作業をしても、大きな音を出したら巣箱から飛び出したような気がします。巣箱に戻ろうとしているフクロウを、携帯の連写でとらえました。(Lily・館岩)



5.7 クロサンショウウオ

今年のクロサンショウウオの産卵は今朝だったようです。未だピンク色。翌朝6時ごろ、産卵現場を見ました。十数匹のクロサンショウウオが団子のようになっとうごめいていました。激しく動くので息が切れるのか、頻りに空気を吸いに水面に顔を出します。30分後に行ったら、1匹だけが卵の近くで見守っているような様子でした。

(毘沙沢)



5.14 種まきの季節です

サクラとモモの花が咲き、のどかな只見の畑仕事が始まりました。正面は柴倉山です。(和子)



5.20 アカショウビン初鳴き

今年初のアカショウビンの鳴き声を、今日の夕方城山の方向に確認しました。楽しい季節になりました。(毘沙沢) 長浜ではアカショウビンは21日でした。同日エゾルゼミが初鳴き。(みゆき) 只今、館ノ川の畑で対岸の黒沢方面からアカショウビンの鳴き声が聞こえます。自分としては、今季、初！(5/23・ゆたぼん)

5.31 僕は殿様の上に 乗っています…

今日は窓からではありません、と言っても20歩位先の池の縁です。モリアオガエルがチャッカリとトノサマガエルの上に…。他にも2匹写っていますが一番左の個体もトノサマ？ いえ、ツチガエルでした。(a-killer)



6.4 刺激前&刺激後

玄関灯をつけっぱなしで寝たために飛んで来たようです。調べたところ、スズメガの仲間のウチスズメのようです。



分かる方教えてください。外敵から身を守るためでしょうか？ 刺激したら右の写真になりました。(a-killer)

6.7 ヒメサユリ開花

ユリ平でヒメサユリが咲き始めています。(ゆたぼん)

6.11 ヒメサユリ見頃

ヒメサユリまんかいです。(和子)



6.13 サラサドウダン

大倉の集落から湯ら里に向かい、橋を渡ってすぐ左の坂を登ると比良林のサラサドウダンが綺麗に咲いています。幹回り4メートルにもなるドウダンツツジは珍しく、県の天然記念物に指定されています。オキナグサの綿毛も見えました。(こずえ)



7.10 昨日の観察会にて…

第3回の蒲生岳花暦調査で、蝶の写真を撮りました。帰って調べたところサカハチチョウでした。写っているのはサナエさんの手です。サナエフェロモ



ンでも出ているのでしょうか？ なかなか飛び立とうとしませんでした。

(a-killer)

7.20 ヤブカンゾウ開花

館ノ川でヤブカンゾウが咲き始めました。そして、アブラゼミと思われる脱け殻も発見。ん～、周りから聞こえる鳴き声も、いつの間にかニイニゼミからアブラゼミに変わっている！

(ゆたぼん)

7.25 雨宿り？

昨日のお昼頃に家の物置の入口で発見。こんな怪獣いませんでしたっけ？ 背中側に眼のように見えるこぶのようなものがあります。シモフリスズメのよう



です。今朝はもういませんでした。夜のうちに雨の切れ間について飛んでいったんでしょう。(ゆたぼん)

8.8 フクロウの耳

フクロウが蒲生の国道さ落ちでだどって、届けでけやったずや。りっぱな成鳥。死後硬直もしてねえし、眼も傷んでなかったが、夜中、車にひかっちゃんでねえがど思う。新鮮なうちど思っ、フクロウの耳の写真を撮ってみたぞや。フクロウの目は正面についてっから、奥行きが、しっかり見えるようになる。そしてパラボナアンテナみでえな面は、集音器の役目があるようだ。これで集めた音を聞き分けるのが、この耳。でっけえうえに、左右の耳の高さが違っでる！



すべての動物は、左右同じ位置に耳がついでんだども、フクロウだけは違う。これで、音の伝わり方の差を感知して、獲物の居場所を確定するらしい。めげえだけでなく、ながなが、よくできてる顔だ。(イサム)

8.12 ぶさいくな鳥

きんな、「珍しい鳥だんねえが」どって届けられた鳥。家の玄関先さ、いだっちゅう。ぶさいくで、手一、近づけっと、くちばしで突っついてくる。けっこう、気が荒いかどい。これはある鳥のひなで、虫やメメズは食わねえで、ミルクで育つ。ミルクったって、乳ではなく、チーズみてえなたんぱく質のかけらを親の口のなかからもらって育つつちゅう。ちゅうわけで、この鳥は年じゅう繁殖できるじゅうごんだ。さで、このひなは、なんとという鳥でしょう？ (イサム)



正解は……キジバト

8.28 オイシそうな親子

今朝いつものように窓から外を見てみると、大きめの鳥が歩いていました。早速窓越しに撮りました。ヤマドリ♀とその子たち5羽でした。只見では初めて見ました。 (a-killer)



9.1 メスグロヒョウモン

近所の人と立ち話をしていると何やら見慣れない蝶が…。カメラを取りに帰り、早速撮りました。図鑑で調べたところ、メスグロヒョウモンの♀のようです。花との色合いも綺麗です。読んで字の如くメスが黒い



豹紋蝶(タテハチョウ科)なのですね。オスは普通の大阪のおばちゃんが好きな豹柄の色です。これだけオスとメスが違っても同じ種類とは思えませんね。普通に見られるようですが只見でも普通でしょうか？ (a-killer)

9.22 スズメバチがアシナガバチを襲う

今日、家の前のアシナガバチの巣にスズメバチらしきものがいたので、あれっと思ってよく見たら、アシナガバチのサナギを肉団子にしているところでした。この巣は全滅。 (ゆたぼん)



10.12 カマツカの実

カマツカ(バラ科—鎌柄)久しぶりに沢山の実をつけました。『会津只見の植物』(写真とあとがきは新国代表)には載っていないので、自生かどうか不明です。只見ではナタヅカまたはフーゴと呼ばれる樹がありウワミズザクラ(バラ科)のことです。カマツカもナタヅカも材は堅く鎌や鉋の柄として使われました。 (a-killer)



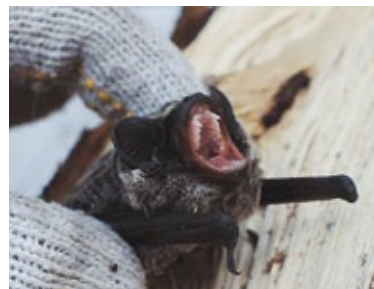
11.1 またまた驚きのクマタカ

今日午前中、裏のノンちゃんが可愛がっていた烏骨鶏をクマタカに拐われました。2時間ほど居座ってたので花火で脅したらしいのですが、目を離したすきに持ち逃げされたそうです。残念ながら畑仕事してて見そびれました。 (和子)



11.3 薪の間から

薪の間から可愛いコウモリが…。初めて。そっとしておきましょう。(毘沙沢)



11.5 ニホンリスかな？

今朝、ウチの猫がリスを捕まえてきました。間近で見るのは初めて！口元以外は傷もついておらず綺麗なままでした。 (カナ)



11.29 蜂の巣のなかみ

先日冬囲いをしたついでに屋根にあった蜂の巣を撤去。綺麗なままとりたかったのですが、上はしっかりと軒に張り付き外側は柔らかくてぼろぼろになってしまいました。巣の主は攻撃的なキイロスズメバチ。お宅を拝見。外はやわらかく中は3階建てでしっかりとした柱が、3~5本で上下をつないでました。写真は外と内側です。 (こずえ)



2.18 布沢山城をスキー散策

布沢山城をスキーで散策してきました。前日の雨で重い悪雪でした。

ルート：仲田→布沢にかかる橋(除雪されていない)→**A**尾根登高→**B**沢下降→今井さん宅(毘沙沢)→**C**尾根登高→**D**尾根往復→**E**尾根下降→仲村

稜線のブナ二次林は細いものが多く、保水機能はまだ十分とは感じられませんでした。

●面白っえーど、歩っきゃったな。歩いたルートには、滝原館跡があっただろ。滝原ちゅうは、江戸時代の地名で、いまの坂田あたりのごんだ。江戸時代は滝原村だっていっでだ。雪でわかりにくかったがもしにえども、かなりでっけ堀跡が長々と続いてんどごあんだ。こごらあたりは、戦国時代から要衝の地で、沢の対岸にある山頂には布沢城が築がっちえある。地元では、通称、城山どっちゅう。つまり、滝原館と布沢城に挟まれるかたちで、いまの毘沙沢林道が通っでんだ。

一帯は、伊達政宗の軍勢が攻め込んで来だどごなんだ。江戸時代は、幕府の巡見使一行が歩いたルートでもあんな。何百人ちゅう大行列で来で、布沢村一帯に泊まったんだ。いまこそ、山の中だとも、戦国時代から江戸時代にかけては、大事な街道だったわけだ。昭和44年8月13日に起きた大水害のどぎは、下流の道がふさがっちゃがんで、佐野さんが歩いたルートを使っただ。

ちなみに、滝原館がある山頂付近は、隠田がっぺえあるどごだ。江戸時代の飢饉のどぎなんざあ、この田んぼの米でしのいださうだ。はあ35年ぐれえ前、転作確認ではじめて行って、たまげたごある。そのころは、急な山道を、皆んなして耕運機を引っ張り上げて、田うないしだっちゅうごんだ。

よくぞ歴史ある道を選んで、歩いてくっちゃもんだ。えらい！ (イサム)

2.26 毘沙沢周回尾根

2/18の偵察山行に基づき、2/26は毘沙沢を囲む尾根を、ぐるりとスキーで巡ってきました。前回とは違い、堅い旧雪の上に薄っすらと新雪が積もり、シールがよく走りました。以下、簡単な報告です。

ルート：仲田(07:35)～コンクリート橋～滝原館跡(08:30)～毘沙沢・大田の峠(10:25)～今井邸(10:36)～峠(11:30)～P724(11:50)～城山(12:30)～布沢・郵便局付近(13:15)

F滝原館跡のP641に形の良いブナが1本。一帯は細いブナばかりなので、強く印象に残る。堀跡等の痕跡は深い雪の下で確認できず。

G毘沙沢・大田の峠への下りは尾根が広く迷い

やすい。

H峠から大田へは夏径があるらしく、開けている。

IP724～布沢に向かって西北西に伸びる尾根上には、太いブナとミズナラの林が残る。意外！ 気分が良い。

J城山は頂上直下が急斜面で囲まれ、まるで要塞のよう。山頂は展望台。正面に同じ目線で滝原館跡の尾根が横たわり、遥か向こうにボリュウムのある鷹埋山が。そして、眼下には今井邸。林道を除雪するブルドーザのエンジン音が騒々しい。

K大田の湿原を往復したかったが、時間がなく諦め、次回の宿題とする。和子さんによると、この湿原は学術的に希少価値が高いとのこと。

戦国～江戸時代の歴史を想像しながら、スキーで低山を巡る。新しい山の楽しみ方かも、と思いました。

●まだ、いいど、歩っきゃったな。巡見使街道を取り囲むようなルートだべした。

城山の山頂部は、20年ほどめえは気持ちのいいブナ林だったども、みんな伐っちゃった。そのかわり眺めはよくなったべな。階段状に郭が掘削されで、ながながりっぱな館跡なんだ。

こごら布沢本村に向かう尾根もいいどごだ。この尾根の突端はヒアカシソネどっちゅう。ヒアカシソネどは、火を明かす曾根っちゅう意味だと思。のろし台だったんだべな。こっから見っど、布沢の集落がよく見え、正面には龍泉寺っちゅうお寺があんだ。古い文献には、布沢館っちゅう館があると出でんだが、いまんところ、所在がわがねえ。オラは、龍泉寺のあたりが館跡だんがろーがど考えでんだ。そうゆーわけで、毘沙沢っちゅうどごは、中世時代から要衝地だったんであんめーが。 (イサム)



布沢周辺スキールート (2017年2月18日、2月26日)